

平成22年8月20日

貧酸素水塊速報 (2010年)

〔発行〕 千葉県水産総合研究センター
神奈川水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
内湾底びき網研究会連合会

〔協力〕 千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年8月17日観測結果

ほぼ無酸素な水塊(酸素量0.5ml/L以下)が、内湾中央部で広範囲かつ鉛直的に厚く分布していました(図1,2)。このまま風向きが北寄り主体になると、この水塊が湾奥へ移動し、同域で青潮が発生する危険性があります。

多くの観測点で表層水温が30 以上を示しました。表層塩分は低いので表層と底層の密度差が大きく、これが底層の貧酸素化を強める一因となっています。

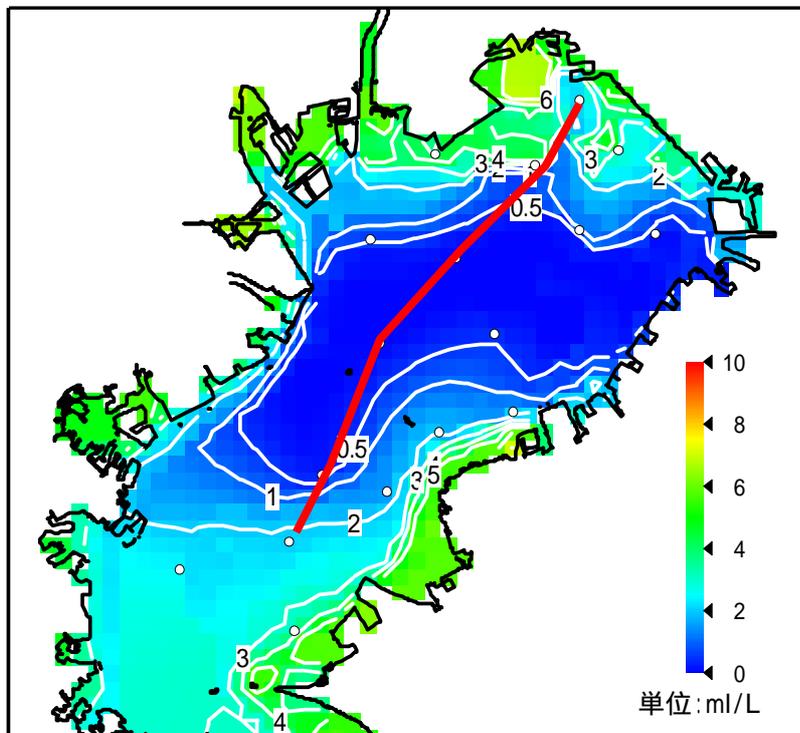


図1 底層の溶存酸素量の分布(赤線は縦断ライン)

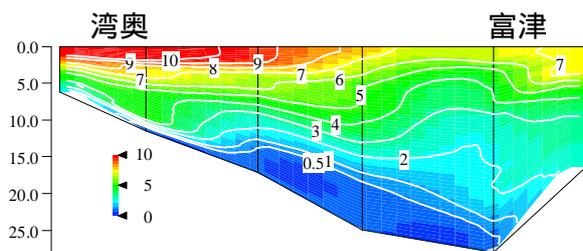


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

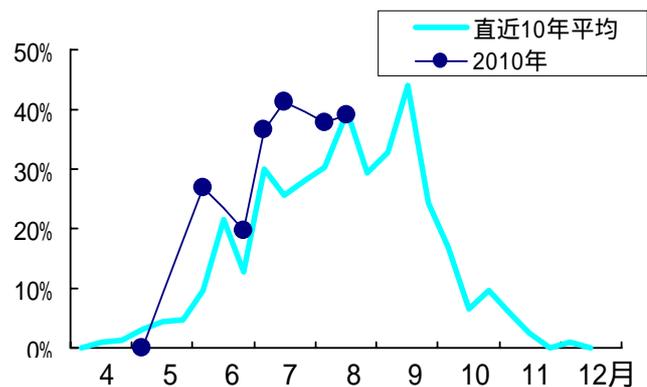


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)